

第1回 多田東小地域 地域別懇談会の概要

日 時：平成 23 年 11 月 27 日（日）

午前 10 時～12 時

場 所：多田東会館

参加人数：16 人



1 大塩市長からあいさつ

- 右肩上がりの時代から、大転換期を迎えている。多田東小地域では、30～34 歳の人口が最も多いという嬉しい状況にあるが、市としては高齢化が進み税収減が予想される。
- 今後はなお一層、地域と市が一緒になって取り組みを進めていきたいと思っている。より地域の特徴を活かした活動をしてもらうために、一定の権限や財源を地域に移譲するような制度を、みなさんと協議しながら立ち上げていきたいと考えている。今後ともよろしくお願い申しあげる。

2 中川教授（帝塚山大学大学院）からひとこと

懇談会を始めるにあたって、帝塚山大学大学院の中川教授にお話をうかがった。

- 東日本での震災後の様子を見てみると、避難所生活でうまくいっているのは、従前から近所づきあいがあった人たちのグループのようだ。人とのつながりというのは、もしもの時に重要であることを目の当たりにした。
- もともと自治会というのは、地域のたくさんのことのために活動してきたが、テーマ型・性別・年齢別のいろいろな組織が別に発足して活動してきたので、自治会が総合力を失ってきた。その結果、回覧板を回すことと主な行事をするのが仕事、という風に見られてしまっている。
- 地域の取組みは、実は資産価値につながっている。事件が起こったり災害時に助け合えない地域では、地価は低くなる。地域の取組みは、そういう意味からも重要。
- 最近の社会では、「足りないもの」に目を向けるようになってきている。欠けているものを指摘するのはうまいが、自らは行動しない。文句を言っているだけでは、いい地域をつくるのは難しい。
- ただし、地域に無関心な住民もいる一方で、市民精神を持った人たちもいると思う。活動に参加するきっかけがないだけだと思うので、そのような機会が設けられればいいのではないかと。
- 地域の活動には、専門性が求められつつある。性別・世代別の活動を充実させ、結果として総合的な分野をカバーできるように、活動して欲しい。
- 地域でないとできないことはたくさんある。みなさんの手で、より良い地域をつくってほしい。

3 グループワーク

地域の課題と、地域の資源（地域活動、モノ、ヒト、コト）を挙げ、それぞれキーワード付けを行った。

《A班》藪内さん、岡田さん、関さん、斉藤さん、細見さん、吉川さん

【地域の課題】

地域の課題	キーワード
<ul style="list-style-type: none"> 道路幅が狭い(市道 49 号、開発土地の道路) 多田駅の踏切幅が狭い 信号(補助信号)の設置が必要(多田桜木 2 丁目北) 駅前の道路が自動車通行量の多い割に、道路幅が狭い 	道路・交通
<ul style="list-style-type: none"> ゴミの問題(分別、散乱) 犬のフンの放置の問題 犬の散歩時のマナーが悪い アライグマや外来生物の退治 ゴミの出し方を自治会で決めているが、自治会に入っていない人が、適当に出してしまう 	環境・美化
<ul style="list-style-type: none"> 公園の数が少ない(避難時心配) 公園が狭い 子どもが自由に遊ぶ場所がない 昔と違って、住宅が増え、遊び場が減った 	公園
<ul style="list-style-type: none"> 自治会への加入者が少ない(未加入多数) 住民の交流不足 自治会加入率低下 盆踊りがない 人材の育成 地域のまとまり(新旧の住人での)が少ない 	自治会
<ul style="list-style-type: none"> 空き家があり用心が悪い 空き地の雑草が汚い 災害時の支援の再認知 防犯意識の向上 地域防災の充実(避難場所が 1 箇所では少なすぎる) 	防犯・防災
<ul style="list-style-type: none"> 公共の場における基本的なマナーの再確認 集団生活におけるマナー、ルールの向上 交通マナー(信号)が悪い 	マナー
<ul style="list-style-type: none"> 子ども、大人の食育関心度を高める必要 中央北地区の整備(進んでいるのか?) 	教育
<ul style="list-style-type: none"> 福祉拠点が無い 高齢化が進む中、公的な養護老人ホームが足りない 多目的会館がもう一軒必要 	福祉

【地域の資源】(地域活動については別表にて表示)

地域の資源	キーワード
<ul style="list-style-type: none"> 開業医が多い 	医療の充実
<ul style="list-style-type: none"> 商業施設が充実 交通が便利(能勢電には 3 つの駅がある) 	立地、利便性

地域の資源	キーワード
<ul style="list-style-type: none"> ・ 三ツ矢サイダーの発祥地(平野) ・ 多太神社 ・ 岡本航君の伝画 ・ 芸能人(キングコング西野、ダチョウ倶楽部寺門他) 	伝統・文化



《B班》大西さん、福井さん、爰河さん、野村さん、上松さん

【地域の課題】

地域の課題	キーワード
<ul style="list-style-type: none"> ・ 犬の散歩時のフンの処분이悪い ・ 公園の砂場での猫等のフンの始末 ・ ハイカーのマナーが悪い ・ 自治会員以外の方が、ゴミを捨てに来る 	しつけ・マナー
<ul style="list-style-type: none"> ・ P T A 活動に対して積極的でない ・ P T A 等の活動をしたことがない人からの苦情が多い ・ 意見がまとまらない ・ 自治会に入っているメリットが明確ではない ・ 高齢者が増えて自治会活動に支障が出て来ている ・ 自治会員全員で参加する行事がない ・ 自治会役員のみ活動している(青年団がない) ・ コミュニティ行事に参加しない人が多い ・ 若者の人材不足 ・ 若い人の自治会への参加意識が薄い ・ 自治会の加入率の低下 	地域活動
<ul style="list-style-type: none"> ・ 近所のコミュニケーション不足 	コミュニケーション
<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難場所の確保 	防災
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の増加 ・ 急坂の上の住宅地の高齢者が、生活しづらくなってきている 	高齢者の環境
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの遊び場がない(ボール、花火) 	子ども
<ul style="list-style-type: none"> ・ 道が狭く、歩行者が歩きにくい 	道路整備

【地域の資源】(地域活動については別表にて表示)

地域の資源	キーワード
<ul style="list-style-type: none"> 大きなスーパーマーケットが3つある 大型店(コーナン)の出店 高台のため、地区が一望できる 	利便性



《C班》塩川さん、北さん、佃さん、長澤さん、片原さん

【地域の課題】

地域の課題	キーワード
<ul style="list-style-type: none"> 認知症の方の増加 親の介護の問題 一人暮らしの老人の増加 介護者の負担増 	福祉
<ul style="list-style-type: none"> 近所づきあいの希薄化 ご近所とのつながり 新旧の住人の意見格差が大きい 個人情報教えてもらえず、相手が見えない状況 	近所
<ul style="list-style-type: none"> 自治会加入率が低く、行事・活動に関心が薄い 多田東コミュニティの加入率が50%を切りそう 自治会員の高齢化(40%に届く) 自治会の再構成が必要 自治会長になる人が少ない(今は我慢して1年やってもらっている) 自己責任の低下 	自治会
<ul style="list-style-type: none"> P T A役員と地域の関わり 学校の先生方の地域への参加協力が欲しい 文句ばかり言わずに協力してほしい 交代してくれる人材が見つからない 新しい人材が必要 	人材発掘
<ul style="list-style-type: none"> スポーツ公園が欲しい 常設の活動拠点が欲しい 公園、会館がないため、集まることが出来ず一体感がない 災害時の防災避難場所がない 	集まる場所

地域の課題	キーワード
<ul style="list-style-type: none"> ・ ワンルームが増え、定住する人が少なくなっている ・ 組織が多くまとまりがない ・ 組織の簡素化を 	その他

【地域の資源】(地域活動については別表にて表示)

地域の資源	キーワード
<ul style="list-style-type: none"> ・ 塩川のほたる 	自然環境
<ul style="list-style-type: none"> ・ 多太神社(1000年) ・ 西行の碑 ・ 清涼飲料水発祥の地 	伝統・文化



【地域活動シート】 地域活動シートは、地域でほぼ共通事項であるので1枚で整理

<p>世代間交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三世代交流(もちつき、しめ縄作り、昔遊び)(毎年3月第1日曜、川西小地区、福祉委員会) ・ コミュニティ運動会・文化祭 ・ 花火大会(毎年8月、向山公園、自治会) ・ 高齢者に中学生が年賀状を送る ・ 作品展 ・ 地区別懇談会(多田中学校) ・ 三世代ふれあい広場 	<p>祭り・伝統文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多太神社の秋祭り(獅子舞、大太鼓) ・ 多太神社の3年に一度祭り ・ 多太神社の年越し ・ 愛宕山の火祭り ・ とんど祭り ・ 地藏盆 ・ 九頭神社のお祭り(7月15日) 	<p>子ども健</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登下校 ・ 小学校 ・ 子育て(員) ・ 子ども ・ 保育園 ・ 消防団 ・ 多田保 ・ きんた ・ アニメ ・ 障がい ・ 年1回
<p>高齢者福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いきいき元気教室(年4回、地域包括センター) ・ いきいき元気クラブ(6地区、各4回/年、福祉委員会) ・ ひとり暮らし高齢者の集い(年2回、多田東会館、福祉委員会) ・ ふるさと学園(講演会、落語、演芸大会、老人会) ・ 災害時支援者、同意者の見守り(民生委員) ・ 自治会でウォーキング(春・秋) ・ 配食サービス(月～金、福祉委員会) ・ 認知症サポーター研修(年1回) ・ 徘徊対応訓練(年1回、福祉委員会) ・ ふれあいクラブ(毎月曜日、福祉委員会) 	<p>地域活動</p>	
<p>防犯・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会の防犯パトロール(月2回) ・ 防犯協会月1回パトロール ・ 自治会中心で夜回り(鼓ヶ滝自治会) ・ 自治防災の災害ハイキング ・ 消防団毎月の試運転 ・ 救命講習会 	<p>地域の美化・緑化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園・道路の清掃(地区菜の花グループ) ・ 菜の花の会の、花の育成 ・ 年末年始イルミネーション(鼓ヶ滝商店街) ・ クリーンアップ作戦への参加(春・秋、子ども会、老人会) ・ 多太神社清掃(月1回、各自治会) ・ 花の育成、町内公園の掃除(菜の花会) ・ 公民館周辺の清掃奉仕(月1回、老人会) 	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平野地 ・ 流会を ・ 平野自 ・ る ・ 男性の ・ 地域教 ・ コミュ

4 各班の発表概要

A 班

- 自治会加入者が減少していることに問題意識を持っている。犬の散歩中にフンを持って帰らないという、マナーの悪い人がいる。
- 多太神社のまつりがたくさんあり、充実している。また、この地域は三ツ矢サイダーが最初に作られた地である。



B 班

- どの団体でも人材の不足が問題になっていることが分かった。
- 自治会で花火大会をしているところや、子どもが参加する消防訓練を消防団が開催しているところもある。
- 中川先生の話にもあったが、実践が大切だと考えており、若者が祭りを継承するために取組んでいる自治会もある。



C 班

- 人と人とのつながりが重要だと再認識した。人口の問題ではなく、付き合いの濃さの問題。親が活動しているのを子どもに見てもらって、将来参加してもらおうというのが良いと思う。
- そのためには小学校との関係が大事。例えば PTA の中で、地域に関わってもらえる人に出会えたらと思っている。
- また、負担になり過ぎない活動の量というのも大事な問題で、無駄なことはせず、簡素化していく方向も考えていきたい。



5 コメント

最後に中川先生よりコメントを頂いた。

- 課題が出そろったようなので、次回以降は解決策を考えてもらいたい。いくつか提案がある。
- 道路や避難所の問題については、行政の協力が必要と思うが、その中でもみなさんで話し合い、優先順位をつけて、納得しながら一つずつ実現していくことが重要だと思う。
- 地域に新しく入ってきた人に対して、最初は異質な感じがするかもしれないが、歓迎のパーティをするなど、積極的な関わりをしてみてもいいだろう。
- 自治会員が減少しているという話だったが、法人の会員というのもあり得るし、駐在所に入ってもらってもいいかもしれない。新たな会員をみつけて活動に巻き込んでいくのがよい。
- すべての資源が、資本と呼べるものである。それらを積極的に活用して、気持ちのやりとりのある社会を取り戻すよう努力してもらいたい。

6 終わりに

2回目は12月18日(日)の10時から開催する。